

岡山県感染症週報 2021年第45週 (11月8日～11月14日)

岡山県は『腸管出血性大腸菌感染症注意報』発令中です。

12月1日は『世界エイズデー』です



◆2021年 第45週 (11/8～11/14) の感染症発生動向 (届出数)

■全数把握感染症の発生状況

- 第44週 2類感染症 結核 1名 (20代 男)
5類感染症 梅毒 2名 (20代 男 1名、60代 男 1名)
- 第45週 2類感染症 結核 6名 (40代 男 1名・女 1名、60代 男 1名、90代 男 1名・女 2名)
3類感染症 腸管出血性大腸菌感染症 2名 (O111: 40代 女 1名、
O血清群不明: 30代 女 1名)
4類感染症 レジオネラ症 1名 (40代 男)
5類感染症 ウイルス性肝炎 1名 (20代 男)
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 1名 (70代 女)
水痘 (入院例) 1名 (20代 女)
梅毒 1名 (20代 男)
新型コロナウイルス感染症 69名

新型インフル
エンザ等感染症

	0-9歳	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代以上	年代非公表
男	1	1	2	4	1	1			5	1	
女	2		2	5	8	1	5	5	6	2	
性別非公表											17

ソーシャルディスタンス
・マスク・手洗い!



©岡山県「うらっち」

ワクチン接種も
大切!



©岡山県「ももっち」

【第46週 速報】

- 新型コロナウイルス感染症 39名の発生がありました (11月15日～18日)。
○腸管出血性大腸菌感染症 1名 (O157: 70代 女) の発生がありました (11月16日)。

1. **新型コロナウイルス感染症**は、2021年第45週に69名の報告があり (第44週は85名)、県内での2020年からの累計報告数は15,455名となっています。詳しくは「**今週の注目感染症①**」をご覧ください。
2. **12月1日は『世界エイズデー』です**。岡山県では『世界エイズデー』の関連行事として、エイズに関する正しい知識の啓発活動および保健所・支所で夜間・休日などのHIV抗体検査を実施します。詳しくは「**今週の注目感染症②**」をご覧ください。
3. **手足口病**は、県全体で132名 (定点あたり3.94 → 2.44人) の報告があり、前週から減少しました。地域別では、備中地域 (4.71人)、岡山市 (3.29人)、備北地域 (2.50人) の順で定点あたり報告数が多くなっています。この感染症は、例年夏季に乳幼児を中心に流行しますが、今年は秋季に九州地方を中心に多く報告されています。通常予後は良好ですが、まれに髄膜炎、脳炎、急性弛緩性麻痺などを起こすことがあります。今後の県内の発生状況に注意するとともに、せっけんや流水による手洗い (手足口病の原因ウイルスは、アルコールの効果弱い) を励行し、感染予防と拡大防止に努めましょう ([手足口病に関するQ&A \(厚生労働省\)](#))。

流行の推移と発生状況

疾病名	推移	発生状況	疾病名	推移	発生状況
インフルエンザ	▲	★	RSウイルス感染症	▼	
咽頭結膜熱	▶	★	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	▶	★
感染性胃腸炎	▶	★	水痘	▲	★★★
手足口病	▶	★★★★	伝染性紅斑	▶	
突発性発疹	▶	★	ヘルパンギーナ	▶	★★★
流行性耳下腺炎	▲	★	急性出血性結膜炎	▶	
流行性角結膜炎	▶	★	細菌性髄膜炎	▶	
無菌性髄膜炎	▶		マイコプラズマ肺炎	▶	
クラミジア肺炎	▶		感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	▶	

【記号の説明】 前週からの推移: ▲: 大幅な増加 ▲: 増加 ▶: ほぼ増減なし ▼: 減少 ▼: 大幅な減少
大幅: 前週比100%以上の増減 増加・減少: 前週比10～100%未満の増減

発生状況: 今週の流行状況を過去5年間と比較し、5段階で表示しています。(発生数が多いことを示すものではありません。)
空白: 発生なし ★: わずか ★★: 少し ★★★: やや多い ★★★★: 多い ★★★★★: 非常に多い

今週の注目感染症①

★新型コロナウイルス感染症

●新型コロナウイルス感染症とは

新型コロナウイルス感染症は、現在世界中で感染が拡大している呼吸器症状などを呈する感染症です。咳やくしゃみ、会話などの際に排出される、ウイルスを含んだ飛沫・エアロゾル（飛沫より更に小さな水分を含んだ状態の粒子）を吸入することで感染すると考えられます。通常は感染者に近い距離（1m以内）で感染しますが、エアロゾルは1mを超えて空気中に留まりうることから、換気不十分な環境では、感染が拡大するリスクがあります。現在、進められている予防接種（11月17日までに全人口の75.6%が2回のワクチン接種を完了）については、12月1日から追加（3回目）の接種が始まります（[新型コロナウイルスについて（首相官邸ホームページ）](#)）。

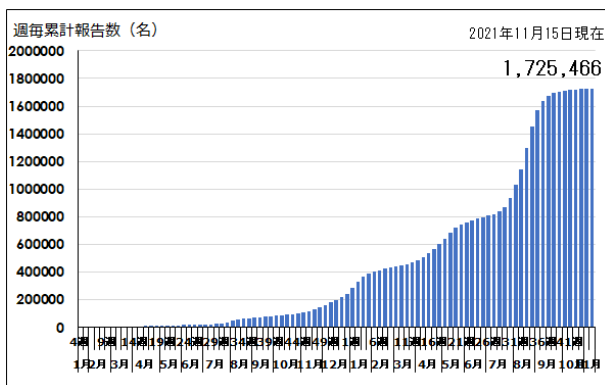
●症状

1～14日（通常5日程度）の潜伏期間の後に、主に発熱、咳、倦怠感等の風邪のような症状が出現しますが、下痢、嗅覚・味覚障害などを呈する場合があります。初期症状に続き、肺炎症状の増悪を示す場合があります。特に高齢者や基礎疾患（慢性閉塞性肺疾患（COPD）、慢性腎臓病、糖尿病、高血圧、肥満など）のある方がり患すると、重症化する割合が高い傾向にあるとされており、注意が必要です。他方、感染しても息苦しさなどを認めない比較的軽症の例や無症状の方も多くみられます。また、いわゆる後遺症についての研究が進められており、その中間報告において「疲労感・倦怠感、息苦しさ、筋力低下、睡眠障害、思考力・集中力の低下、脱毛」が感染の診断から6か月後でも多く認められ、遷延する症状と考えられています（[COVID-19 後遺障害に関する実態調査等（厚生労働省）](#)）。

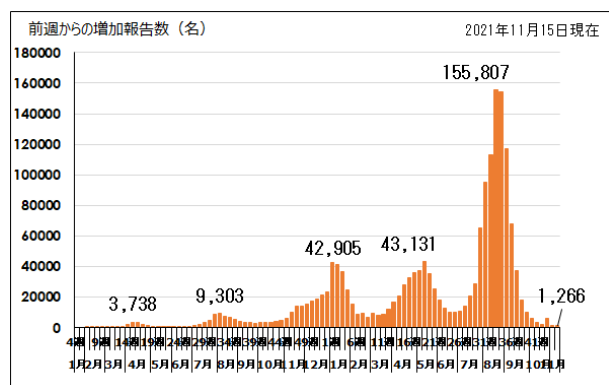
●発生状況

・全国

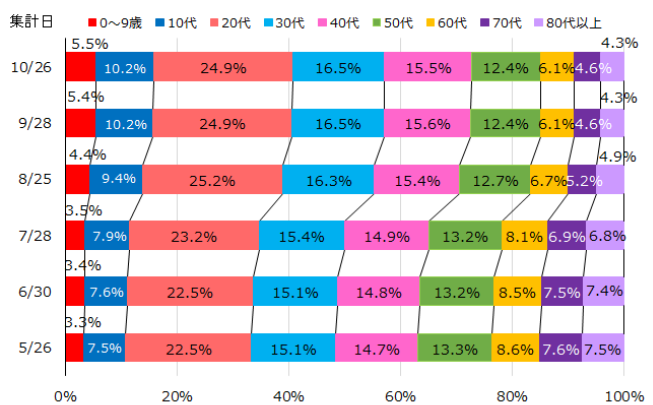
2021年11月18日0時現在まで、国内感染者は累計で1,725,901名、国内死亡者は18,336名、入院治療等を要する者は1,597名（うち重症者76名）となっています（厚生労働省ホームページより）。全国の新規感染者数は、今年の夏以降で最も低い水準が継続しており、重症者数および死亡者数も減少が続いています。新規感染者数の年代別割合では、60代以上が2割弱まで上昇する一方、10代以下が2割程度で横ばいが続いています。今後の気温の低下による屋内での活動の増加や、忘年会など年末に向けての行事により、さらなる社会経済活動の活発化が想定され、新規感染者数の増加が懸念されます。引き続き必要な対策の徹底と、新規感染者数の動向に注視が必要です。



全国 週毎累計 厚生労働省ホームページより
(2021年第45週まで(～2021/11/14))

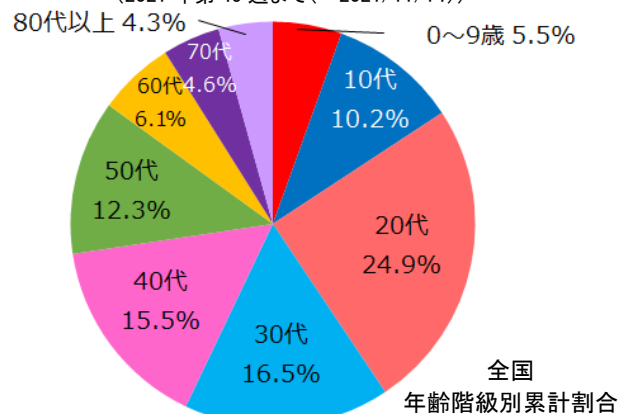


全国 週毎増加報告数 厚生労働省ホームページより
(2021年第45週まで(～2021/11/14))

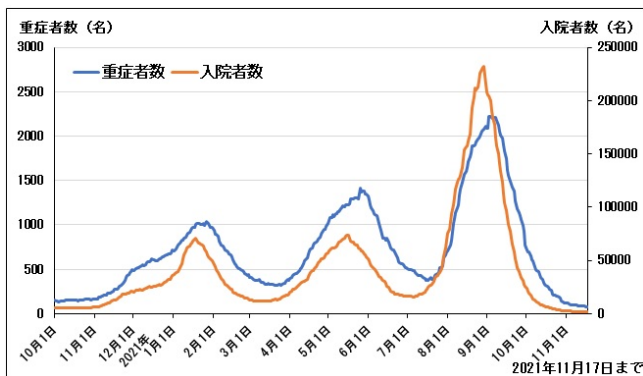


全国 月毎年齢階級別累計割合

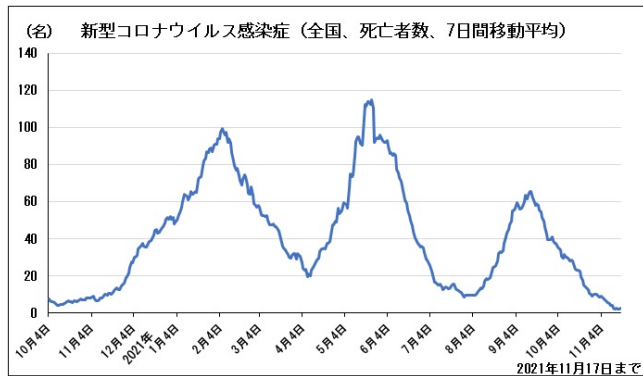
2021年10月26日24時時点



全国 年齢階級別累計割合
厚生労働省ホームページより(2021年11月16日24時時点)



全国 重症者数・入院者数の推移
(厚生労働省オープンデータより(2021年11月17日まで))



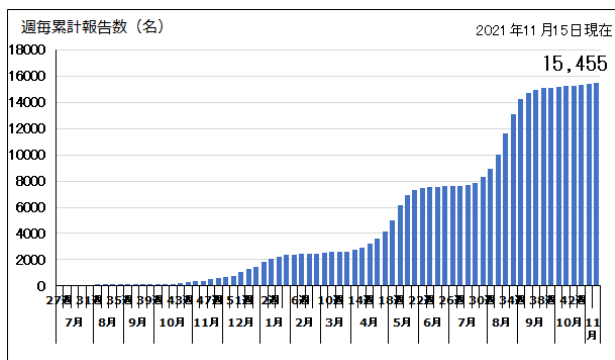
全国 死亡者数(7日間移動平均)
厚生労働省ホームページより(2021年11月17日まで)

・岡山県(最新情報)

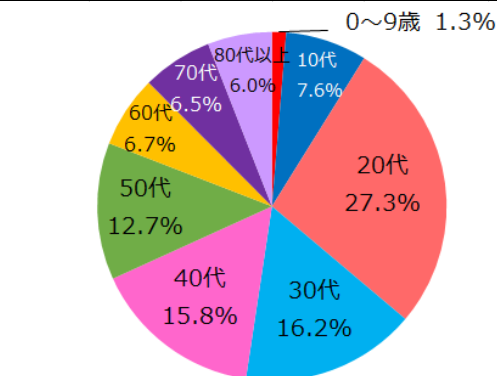
2021年11月18日までで、岡山県の感染者は累計で15,494名(男性7,643名、女性6,306名、性別非公表1,545名)、死亡者は136名となっています。岡山県においては、低い水準で推移していますが、70代以上の高齢者で増加傾向となっています。感染拡大の防止が重要であり、基本的な感染予防策(3密の回避、マスクの正しい着用、手洗い、換気など)の徹底に留意が必要です。引き続き、感染者数の動向に注意しましょう。

第46週(速報値) 新型コロナウイルス感染症 39名 年齢階級別・性別発生状況一覧表

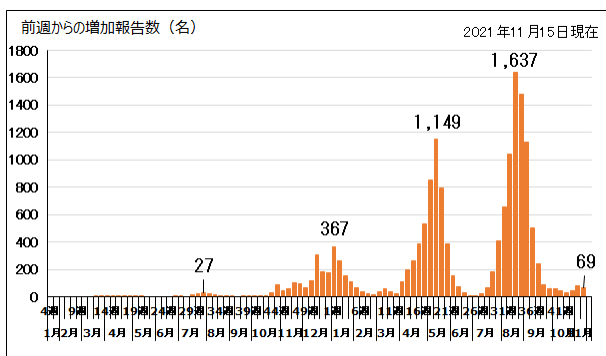
	0-9歳	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代以上	年代非公表
男		1	4	1	6			3	1		
女			1	2	2	1			2		
性別非公表											15



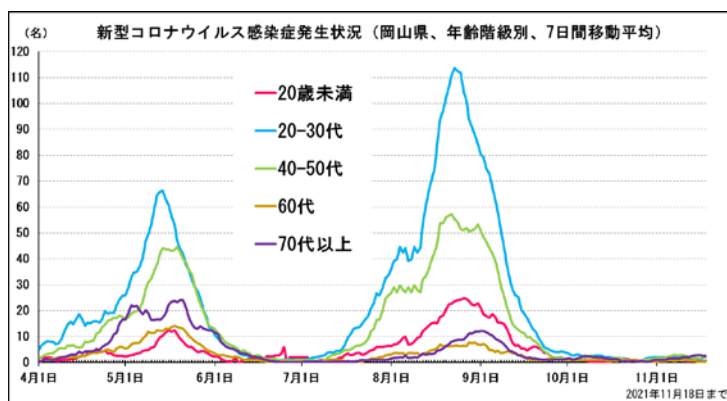
岡山県 週毎累計 (2021年第45週まで)



岡山県 年齢階級別累計割合(2021年11月18日まで)



岡山県 週毎増加報告数 (2021年第45週まで)



岡山県 年齢階級別発生状況(7日間移動平均、11月18日まで)

【発熱や風邪のときは「かかりつけ医」等にご相談を！】

新型コロナウイルス感染症は、発熱や咳などで始まることが多く、一般的な風邪や、インフルエンザと初期症状が似ています。

こうした症状がある場合は、無理をして学校や職場等に行かないようにして、「発熱外来」で相談・診療・検査をしましょう。

なお、医療機関を受診する際は、必ず事前に電話予約をし、受診時はマスクを着用してください。

詳細は、岡山県ホームページ → [新型コロナウイルス感染症に関するコールセンター](#)

今週の注目感染症②

☆後天性免疫不全症候群（エイズ AIDS）

●後天性免疫不全症候群(エイズ AIDS)とは

エイズは、HIV（ヒト免疫不全ウイルス）に感染することによって起こる病気ですが、HIV 感染＝エイズではありません。HIV 感染後、自覚症状のない時期（無症候期）が数年続き、さらに進行すると免疫が低下し、本来なら発症しない病気（日和見感染症）などを発症するようになります。通常数年程度の期間を要するとされていますが、近年発症の早い症例もみられています。免疫が低下することで発症する疾患のうち、代表的な 23 の指標となる疾患が決められており、これらを発症した時点で、エイズ発症と診断されます。現在はさまざまな治療薬があり、きちんと服薬することでエイズ発症を防止することが可能になっています。

●感染経路、予防方法および感染の確認方法

HIV の主な感染経路は、①性行為による感染、②血液を介しての感染（覚せい剤などの依存性薬物の回し打ちによる注射器具の共用）、③母親から赤ちゃんへの母子感染、の 3 つです。

①は、不特定多数との性行為を避ける、性行為においてコンドームを使用することで予防可能です。

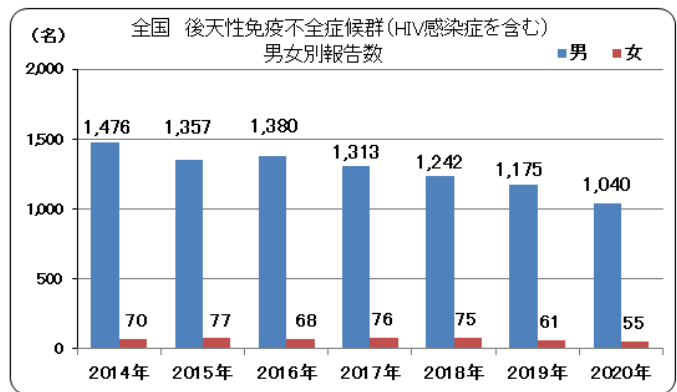
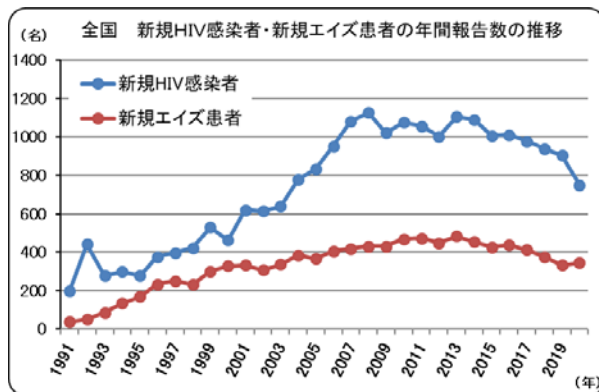
③は、母親が HIV 感染症の治療薬を飲むこと、帝王切開での出産、母乳を与えないことなどで赤ちゃんへの感染を 1 %以下に抑えることができます。（[エイズ Q&A（エイズ予防情報ネット）](#)）

HIV に感染すると、通常 6～8 週間経過して、血液中に HIV 抗体が検出されます。感染初期にはインフルエンザに似た症状が出ることもありますが、この症状からは HIV に感染しているかどうかを確認することはできません。HIV 検査を受けることで、初めて感染の有無を確認することができます。

●発生状況

・全国

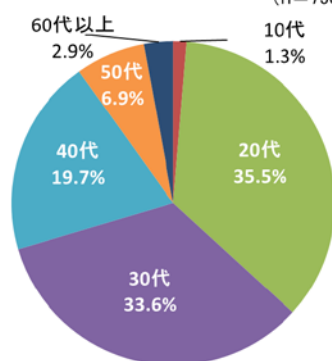
2020 年エイズ発生動向年報によると、HIV 感染者の新規報告数は 750 件（前年 903 件）と、前年から大きく減少した一方で、エイズ患者の新規報告数は 345 件（前年 333 件）と、2016 年以来 4 年ぶりに増加しました。エイズ患者の増加については、CD4 値が低い HIV 感染者における、新型コロナウイルス感染症流行による受診機会の遅れを一部反映している可能性があると考えられています（[IASR HIV/AIDS 2020 年（国立感染症研究所）](#)）。HIV 感染者およびエイズ患者のいずれも、日本国籍男性が 80 %以上を占めました。近年外国国籍男性の HIV 感染者とエイズ患者の新規報告者の合計数が増加傾向となっています。



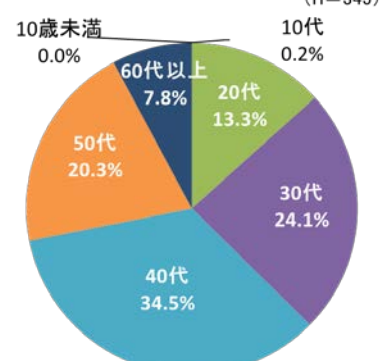
年代別では、HIV 感染者は 20～40 代で多くなっています。またエイズ患者は、20 代以上の各年代に分散していますが、特に 40 代が多く、HIV 感染者よりも年代が高くなっています。

新規 HIV 感染者およびエイズ患者の感染経路は、性的接触によるものが 80 %以上で、HIV 感染者の 72.4 %、エイズ患者の 55.1 %が

2020年 全国 HIV感染者 年代別 (n=750)



2020年 全国 エイズ患者 年代別 (n=345)



厚生労働省エイズ動向委員会 令和 2(2020)年 エイズ発生動向データより作成

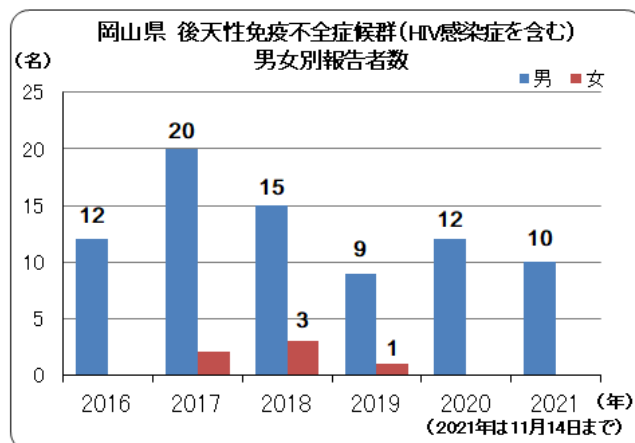
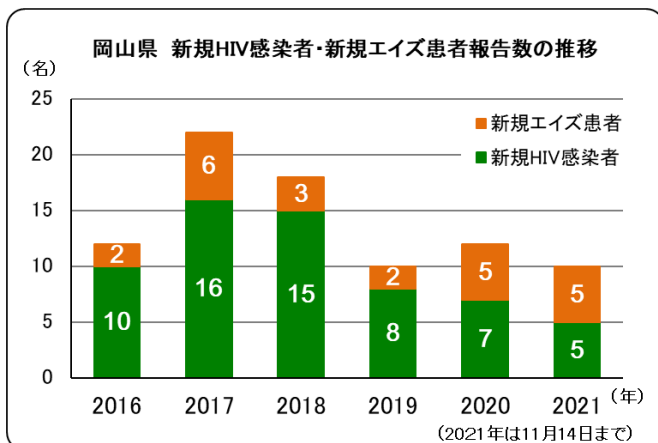
同性間性的接触と報告され、男性の同性間性的接触の多い傾向が継続しています。

なお、静注薬物使用はHIV感染者で5例、エイズ患者で3例、母子感染によるものはHIV感染者で1例となっており、いずれも全体の1%未満にとどまっています。

都道府県別でみると、2020年HIV感染者報告数（人口10万人あたり）は、東京都（2.18）、大阪府（1.01）、沖縄県（0.89）の順で多くなっています。また、エイズ患者報告数（人口10万人あたり）は、大分県（0.70）、沖縄県（0.69）、東京都（0.57）の順で多くなっています。岡山県は、エイズ患者報告数（人口10万人あたり）で全国5位（0.42）となっています。

・岡山県

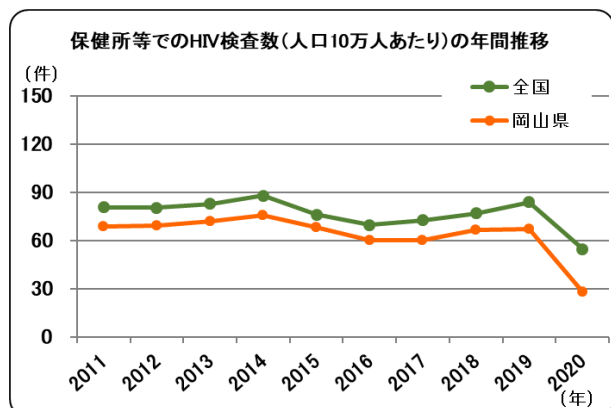
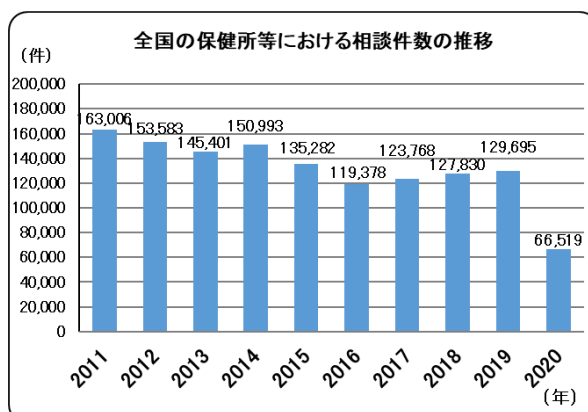
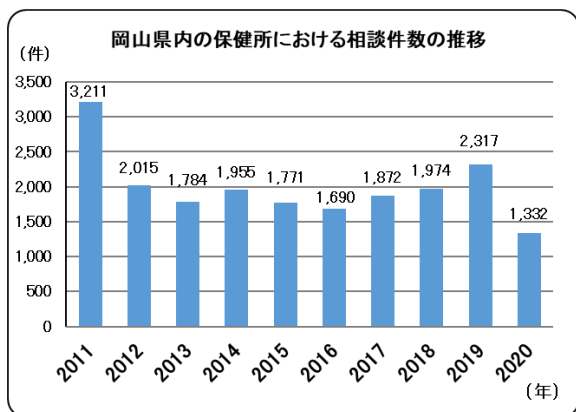
2021年第45週まで（～11/14）に報告されたHIV感染者は5名、エイズ患者は5名で、両者を合わせた新規報告数は10名となっています（2020年第45週までの両者を合わせた新規報告数は11名（HIV感染者7名、エイズ患者4名））。



厚生労働省エイズ動向委員会 令和2(2020)年エイズ発生動向データに、感染症発生動向調査から2021年のデータを追加して作成

【岡山県内における HIV 抗体検査・相談件数】

岡山県内の保健所における相談件数は、2011年をピークに減少し、近年は増加傾向にありましたが、2020年は大きく減少しました。全国的にも相談件数の減少は顕著で、2020年は前年の半数近くまで減少しました。また保健所および拠点病院でのHIV検査数（人口10万人あたり）は、2011年以降ほぼ横ばい状態でしたが、2020年は岡山県、全国とも大きく減少しました。新型コロナウイルス感染症の流行により、人々の受療行動の抑制の影響や、検査機会の減少などの影響が考えられ、無症状感染者が十分に診断されていない可能性に留意する必要があります。



2021年12月1日 世界エイズデー

『レッドリボン 30周年 ～Think Together Again』

(「世界エイズデー」キャンペーンテーマ)



レッドリボン
エイズに対する理解と
支援の象徴

世界エイズデーは、世界レベルでの後天性免疫不全症候群（エイズ AIDS）のまん延防止と患者・感染者に対する差別・偏見の解消を目的に、WHO（世界保健機関）が1988年に制定したもので、毎年12月1日を中心に、世界各国でエイズに関する啓発活動が行われています。

[API-Net エイズ予防情報ネット「世界エイズデー」特設ページ](#)

厚生労働省エイズ動向委員会のまとめによると、2020年までに報告されたHIV（ヒト免疫不全ウイルス）感染者数とエイズ患者数の累積報告数（凝固因子製剤による感染例を除く）は、32,000件を超えました。地域的、年齢的にも広がりを見せており、依然として予断を許さない状況にあります。

HIV感染者 …… 感染症法の規定に基づく後天性免疫不全症候群発生届により、無症候性キャリアあるいはその他として報告されたもの。

エイズ患者 …… 受診時、すでにエイズを発症しており、感染症法の規定に基づく後天性免疫不全症候群発生届により、「AIDS」患者として報告されたもの（※**いきなりエイズ**）。
(既にHIV感染者と報告されている症例がエイズを発症するなど病状に変化を生じた場合は除く。)

※「**いきなりエイズ**」とは、エイズ発症によって初めてHIVに感染したことが判明することです。
HIV感染の治療の遅れとともに予期せぬ感染の広がりにつながる可能性もあり、対策が必要です。

12月1日の世界エイズデーにあわせて、
岡山県内の保健所・支所では、日時を拡大して検査を実施します。

[世界エイズデーについて（岡山県健康推進課）](#)

[令和3年度 保健所における「世界エイズデー」関連夜間・休日検査 日程一覧](#)

※必ず事前に電話予約をしてください（ただし倉敷市保健所12月5日（日）の検査は予約不要）。
なお、新型コロナウイルス感染症対策のため、検査が中止になる場合があります。

岡山県では、平成25年度から全県を挙げて、**HIV感染防止と「いきなりエイズ」防止**のため、「受けやすい検査」「戦略的な普及啓発」「関係者の連携強化」を3つの柱とした「おかやまエイズ感染防止作戦」を実施しています。

[おかやまエイズ感染防止作戦（岡山県健康推進課）](#)

○岡山県保健所・支所、岡山市保健所、倉敷市保健所のエイズ検査（一部、梅毒なども含む）・
性感染症相談は、以下のリンクから詳細をご覧ください。

[岡山県保健所・支所](#)

[岡山市保健所](#)

[倉敷市保健所](#)

○エイズ治療拠点病院のHIV検査（**要予約**、電話相談は行っていません）は、[こちらから](#)

HIV 検査について

HIVに感染しているかどうかは、HIV検査を受けないと分かりません。HIVに感染してからエイズ発症まで数年程度と、ある一定期間自覚症状がない時期が続くため、気づかないうちに大切な人にうつしてしまう可能性があります。HIVは、たとえ感染しても早期に発見すれば服薬を続けることで、エイズの発症を防ぐことができます。早期発見・早期治療がエイズ発症防止やHIV感染拡大防止にも結びつくことから、保健所（無料・匿名）や拠点病院（一律1,000円・即日検査）などでのHIV検査を積極的に利用することが望まれます。もしHIV検査で感染していることが分かった場合でも、県内10か所の拠点病院で専門的に治療を受けることができます。

岡山県内での HIV 検査

	検査法	結果時期	正しい検査結果が得られる時期	料金	予約	備考
保健所	血液検査	岡山市・倉敷市・備前・美作保健所 即日 陰性⇒約1時間後（簡易迅速検査による） 陽性⇒1週間後（確認のため）	感染が疑われる機会があつてから3か月経過後	無料	必須	匿名 梅毒などの性感染症検査も同時に受けられる
		その他の保健所・支所 1週間後				
拠点病院		即日 (1~2時間後)	感染が疑われる機会があつてから8週間目以降	1,000円	必須	匿名では受けられない

重要!

HIV など、性感染症の検査目的での献血は、絶対に行わないでください！

HIV やその他の性感染症に感染しても、検査ではわからない期間があります。また、献血された血液を検査した結果 HIV が陽性となっても、日本赤十字社は検査結果の通知は行いません。
HIV など、性感染症の検査は、保健所または医療機関で受けてください。

風しんの抗体検査(無料)を受けましょう!

<妊娠を希望する女性や同居する家族の方>

岡山県・岡山市・倉敷市では、先天性風しん症候群(CRS)*の予防を目的として、**風しんの無料抗体検査**を実施しています。

県内の抗体検査実施医療機関において、窓口で費用を負担することなく検査を受けることができます。検査の詳細は、下記のホームページ

岡山市・倉敷市以外 → [風しんの無料抗体検査が受けられます](#) (岡山県健康推進課)

岡山市 → [風しんの無料抗体検査](#)

倉敷市 → [風しん抗体検査について](#)

をご覧ください。

<1962(昭和37)年4月2日から1979(昭和54)年4月1日までに生まれた男性>

風しんの抗体保有率が低い1962年4月2日から1979年4月1日までに生まれた男性に対して、まずは**無料で抗体検査**を受け、**抗体価が低い場合は風しんの予防接種を無料で受けることができる**制度が、実施されています(2022年3月31日まで)。以下の医療機関で、無料の抗体検査が受けられます。

[市町村から届いたクーポン券を使用できる岡山県内の医療機関リスト](#)

※妊娠初期に風しんに罹患すると、出生児に先天性風しん症候群(CRS)と総称される障がいを引き起こすことがあります。先天性心疾患、難聴、白内障が3大症状です。

岡山県の2019年4月~2021年8月の風しんのクーポン使用実績(抗体検査)は、25.3%(7月までは24.5%)と未だに低い状況です!

CRSを防ぐためにも、必要な方は確実に予防接種を受けましょう!

[風しんの追加的対策について\(厚生労働省\)](#)
[風疹に関する疫学情報\(国立感染症研究所\)](#)
[“風疹ゼロ”プロジェクト\(日本産婦人科医会\)](#)



国立感染症研究所風しん予防啓発ポスターより

✿子どもの予防接種を確実に! ✿



厚生労働省リーフレットより

新型コロナウイルス感染症の流行による影響から、子どもの定期予防接種率の低下が懸念されています。

接種期間内の方は、早めに予防接種を済ませましょう。

予防接種に関する疑問点などは、お住まいの市町村にお問い合わせください。

[遅らせないで!子どもの予防接種と乳幼児健診\(厚生労働省\)](#)
[予防接種スケジュール\(国立感染症研究所\)](#)

ダニが媒介する感染症に注意しましょう！

野外にいる吸血性のダニとして、マダニやツツガムシなどが知られており、これらのダニの中には、**重症熱性血小板減少症候群(SFTS)***、**日本紅斑熱**、**つつが虫病**などを引き起こす病原体を保有しているものがあります。

ダニは、春から秋(3月～11月)にかけて活発に活動します。

野外で作業する際は、肌の露出を少なくし、こまめに虫除け剤(ディートやイカリジンを含む)を噴霧するなどし、ダニに刺咬されないようにしましょう。また、野外での作業後は、シャワーや入浴を行い、ダニが付いていないかチェックをしましょう。

※SFTSはSFTSウイルスに感染したイヌやネコからの感染も報告されています。
体調不良の動物や野生動物への接触は避けましょう。

★★ くわしくは、こちらをご覧ください ★★

- ⇒ [重症熱性血小板減少症候群\(SFTS\)に関するQ&A \(厚生労働省\)](#)
- ⇒ [日本紅斑熱とは \(国立感染症研究所\)](#)
- ⇒ [ツツガムシ病とは \(国立感染症研究所\)](#)
- ⇒ [マダニ対策、今できること \(国立感染症研究所\)](#)



吸血後の
フタゲチマダニ♀



ヤマアラシチマダニ

岡山県環境保健センター
ウイルス科 画像

◆◆◆ 食中毒予防の3原則 ◆◆◆

岡山県は腸管出血性大腸菌感染症注意報発令中です！

- 「清潔」(菌をつけない)
 - ・調理前、食事前、トイレ後には、石けんと流水で手をよく洗いましょう。
 - ・まな板、ふきん等の調理器具は、十分に洗浄・消毒を行いましょう。
 - ・焼肉をする時は、生の肉をつかむはしと食べるはしを使い分けましょう。
- 「迅速・冷却」(菌を増やさない)
 - ・生鮮食品や調理後の食品は、できるだけ早く食べましょう。
 - ・生鮮食品や調理後の食品は、10℃以下で保存しましょう。
(生食用鮮魚介類は、4℃以下で保存するよう努めましょう。)
- 「加熱」(菌をやっつける)
 - ・加熱して食べる食品は、中心部まで十分に火を通しましょう。
 - ・特に、食肉は中心部の色が完全に変わるまで十分に火を通し、生食は避けましょう(腸管出血性大腸菌は、75℃、1分間以上の加熱で死滅します)。



0157の電子顕微鏡画像
(国立感染症研究所)

[食中毒予防の3原則\(岡山県生活衛生課\)](#)

[家庭でできる食中毒予防の6つのポイント\(厚生労働省\)](#)

保健所別報告患者数 2021年 45週(定点把握)

(2021/11/08～2021/11/14)

2021年11月19日

疾病名	全県		岡山市		倉敷市		備前		備中		備北		真庭		美作	
	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当
インフルエンザ	2	0.02	-	-	-	-	-	-	2	0.17	-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	2	0.04	1	0.07	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.50	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	9	0.17	4	0.29	-	-	2	0.20	2	0.29	-	-	-	-	1	0.17
感染性胃腸炎	112	2.07	29	2.07	18	1.64	25	2.50	12	1.71	5	1.25	-	-	23	3.83
水痘	12	0.22	6	0.43	1	0.09	-	-	1	0.14	1	0.25	2	1.00	1	0.17
手足口病	132	2.44	46	3.29	12	1.09	24	2.40	33	4.71	10	2.50	-	-	7	1.17
伝染性紅斑	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発疹	11	0.20	7	0.50	1	0.09	1	0.10	2	0.29	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	21	0.39	9	0.64	2	0.18	5	0.50	5	0.71	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	2	0.04	2	0.14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	1	0.08	1	0.20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(- : 0 or 0.00) (空白 : 定点なし)

感染症発生動向調査 週情報 報告患者数 年齢別 (2021年 第45週 2021/11/08～2021/11/14)

疾病名	合計	-6ヶ月-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80～	
インフルエンザ	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1

疾病名	合計	-6ヶ月-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20～	
RSウイルス感染症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
咽頭結膜熱	2	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	9	-	-	-	1	1	1	2	-	1	1	1	-	-	
感染性胃腸炎	112	2	6	24	14	8	5	5	3	5	5	3	11	1	20
水痘	12	-	-	1	-	-	1	1	3	1	1	1	3	-	-
手足口病	132	3	11	65	38	6	5	2	1	-	-	-	-	-	1
伝染性紅斑	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
突発性発疹	11	1	1	8	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
ヘルパンギーナ	21	-	1	10	3	3	1	1	1	-	-	-	1	-	-
流行性耳下腺炎	2	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-

疾病名	合計	-6ヶ月-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70～
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-

疾病名	合計	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70～
細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(- : 0)

保健所別報告患者数 2021年 45週(発生レベル設定疾患)

(2021/11/08～2021/11/14)

2021年11月19日

疾病名	全県		岡山市		倉敷市		備前		備中		備北		真庭		美作	
	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当
インフルエンザ	2	0.02	-	-	-	-	-	-	2	0.17	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	2	0.04	1	0.07	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.50	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	9	0.17	4	0.29	-	-	2	0.20	2	0.29	-	-	-	-	1	0.17
感染性胃腸炎	112	2.07	29	2.07	18	1.64	25	2.50	12	1.71	5	1.25	-	-	23	3.83
水痘	12	0.22	6	0.43	1	0.09	-	-	1	0.14	1	0.25	2	1.00	1	0.17
手足口病	132	2.44	46	3.29	12	1.09	24	2.40	33	4.71	10	2.50	-	-	7	1.17
伝染性紅斑	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	21	0.39	9	0.64	2	0.18	5	0.50	5	0.71	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	2	0.04	2	0.14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	1	0.08	1	0.20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

濃黄セルに赤数字は岡山県地区別感染症マップにおいて、レベル3
薄黄セルに黒数字は岡山県地区別感染症マップにおいて、レベル2を示しています。

全数把握 感染症患者発生状況

2021年 45週

分類	疾病名	2021			疾病名	2021			疾病名	2021		
		今週	累計	2020 昨年		今週	累計	2020 昨年		今週	累計	2020 昨年
一類	エボラ出血熱	-	-	-	クリミア・コンゴ出血熱	-	-	-	痘そう	-	-	-
	南米出血熱	-	-	-	ペスト	-	-	-	マールブルグ病	-	-	-
	ラッサ熱	-	-	-		-	-	-		-	-	-
二類	急性灰白髄炎	-	-	-	結核	6	223	252	ジフテリア	-	-	-
	重症急性呼吸器症候群	-	-	-	中東呼吸器症候群	-	-	-	鳥インフルエンザ(H5N1)	-	-	-
	鳥インフルエンザ(H7N9)	-	-	-		-	-	-		-	-	-
三類	コレラ	-	-	-	細菌性赤痢	-	-	-	腸管出血性大腸菌感染症	2	76	103
	腸チフス	-	-	-	パラチフス	-	-	1		-	-	-
四類	E型肝炎	-	2	4	ウエストナイル熱	-	-	-	A型肝炎	-	-	1
	エキノкокクス症	-	-	-	黄熱	-	-	-	オウム病	-	1	-
	オムスク出血熱	-	-	-	回帰熱	-	-	-	キャサヌル森林病	-	-	-
	Q熱	-	-	-	狂犬病	-	-	-	コクシジオイデス症	-	-	-
	サル痘	-	-	-	ジカウイルス感染症	-	-	-	重症熱性血小板減少症候群	-	6	7
	腎症候性出血熱	-	-	-	西部ウマ脳炎	-	-	-	ダニ媒介脳炎	-	-	-
	炭疽	-	-	-	チクングニア熱	-	-	-	つつが虫病	-	4	3
	デング熱	-	-	-	東部ウマ脳炎	-	-	-	鳥インフルエンザ	-	-	-
	ニパウイルス感染症	-	-	-	日本紅斑熱	-	9	11	日本脳炎	-	-	2
	ハンタウイルス肺症候群	-	-	-	Bウイルス病	-	-	-	鼻疽	-	-	-
	ブルセラ症	-	-	-	ベネズエラウマ脳炎	-	-	-	ヘンドラウイルス感染症	-	-	-
	発しんチフス	-	-	-	ポツリヌス症	-	-	-	マラリア	-	-	-
	野兔病	-	-	-	ライム病	-	-	-	リッサウイルス感染症	-	-	-
	リフトバレー熱	-	-	-	類鼻疽	-	-	-	レジオネラ症	1	52	80
	レプトスピラ症	-	-	-	ロッキー山紅斑熱	-	-	-		-	-	-
	五類	アメーバ赤痢	-	12	17	ウイルス性肝炎	1	4	10	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1	29
急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く。)		-	1	1	急性脳炎	-	8	6	クリプトスポリジウム症	-	-	-
クロイツフェルト・ヤコブ病		-	4	1	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	-	4	6	後天性免疫不全症候群	-	10	15
ジアルジア症		-	1	-	侵襲性インフルエンザ菌感染症	-	-	1	侵襲性髄膜炎菌感染症	-	-	-
侵襲性肺炎球菌感染症		-	13	12	水痘(入院例に限る。)	1	4	5	先天性風しん症候群	-	1	-
梅毒		1	127	162	播種性クリプトコックス症	-	1	2	破傷風	-	1	3
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症		-	-	-	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	-	-	-	百日咳	-	13	92
風しん		-	-	1	麻しん	-	-	-	薬剤耐性アシネトバクター感染症	-	-	-
※	新型コロナウイルス感染症	69	14,015	1,440		-	-	-		-	-	-

※新型インフルエンザ等感染症

